科目名称	母性看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1学年前期	1	15
担当教員	矢野　良子	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 助産師 ） □ 無	

【1】 授業概要

母性看護の対象の特徴を理解し、母性の一生を通じた健康の保持・増進を目指した看護について学ぶ。母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を知り、社会背景を視野において、母性看護の機能と役割を考えることができる。

【2】 学習目標

1. 母性看護の概念、リプロダクティブヘルス／ライツにおける母性看護の意義と役割について理解し、説明できる。
2. 人間の性と生殖について理解し、説明できる。
3. 母性看護における倫理について理解し、説明できる。
4. 母性看護の動向と法律・施策について説明できる。
5. 母性のライフサイクルと各期の対象の特性と健康問題・看護について説明できる。
6. 母子保健・医療・福祉チームにおける看護の役割について説明できる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
□ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	母性看護の対象と母性看護の特徴 人間の性の理解 女性の社会的側面 女性の身体的機能	講義
2	母性についての理解 母性としての心理的発達 家族の発達 母性を取り巻く環境 母性看護における倫理	講義
3	リプロダクティブヘルスに関する世界・日本の動向	講義
4	リプロダクティブヘルスに関する施策	講義
5	リプロダクティブヘルスに関する法律	講義
6	リプロダクティブヘルスケアについて	講義
7	女性のライフサイクル各期における健康問題と看護	講義
8	筆記試験	

【5】 授業評価

科目評価は、筆記試験、受講態度で総合的に評価する。

【6】 教科書

系統看護学講座　専門Ⅱ　母性看護学1　母性看護学概論　医学書院

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ